

平成24年度
伯耆町地区別懇談会 資料



伯耆町総合計画

第1次伯耆町総合計画基本構想

(H18年3月策定)

【まちの将来像】

森と光が織りなすうるおいのまち

共生と交流の伯耆町

(サブテーマ) ~誇りと愛着のもてるまちづくり~

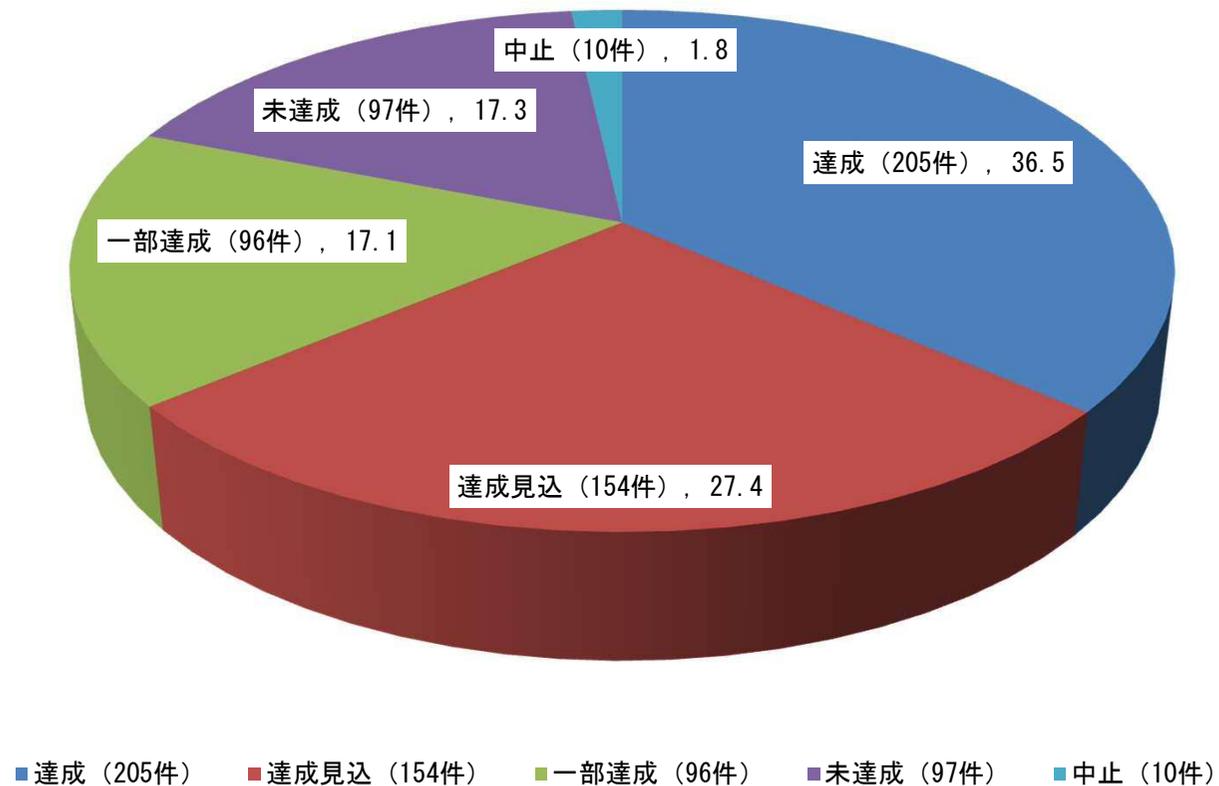
計画期間：H18～27年度（10年間）

* 前期基本計画：H18～22年度

* 後期基本計画：H23～27年度（H23年3月策定）

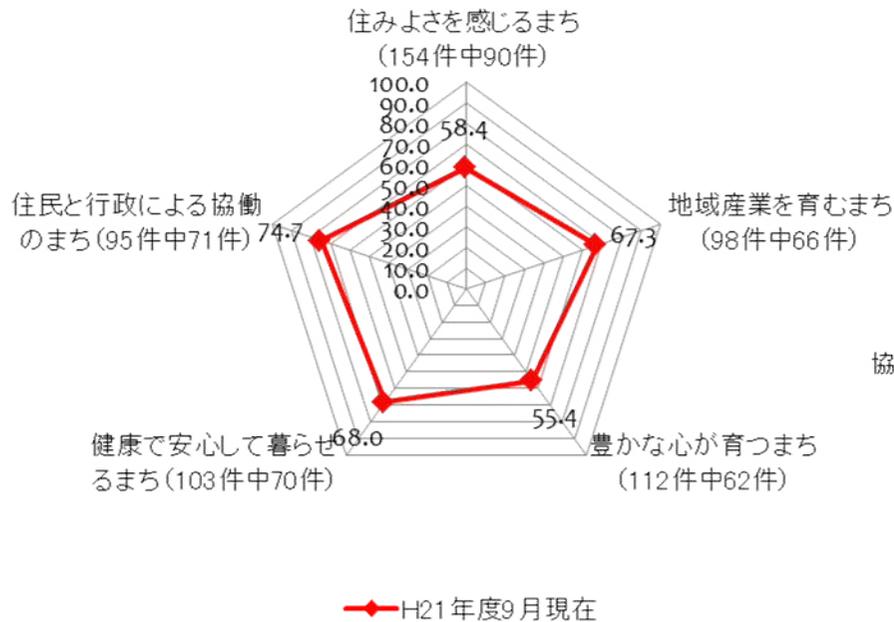
前期基本計画達成状況

H21年度9月現在 前期計画目標達成状況(割合:%)

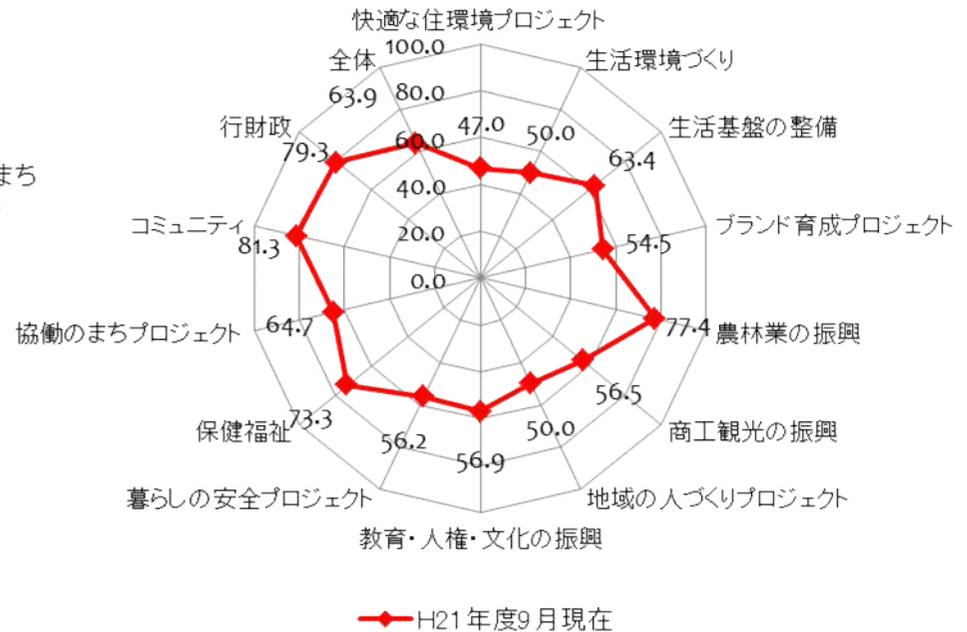


前期基本計画達成状況

基本方針別目標達成状況(割合:%)



政策別目標達成状況(割合:%)



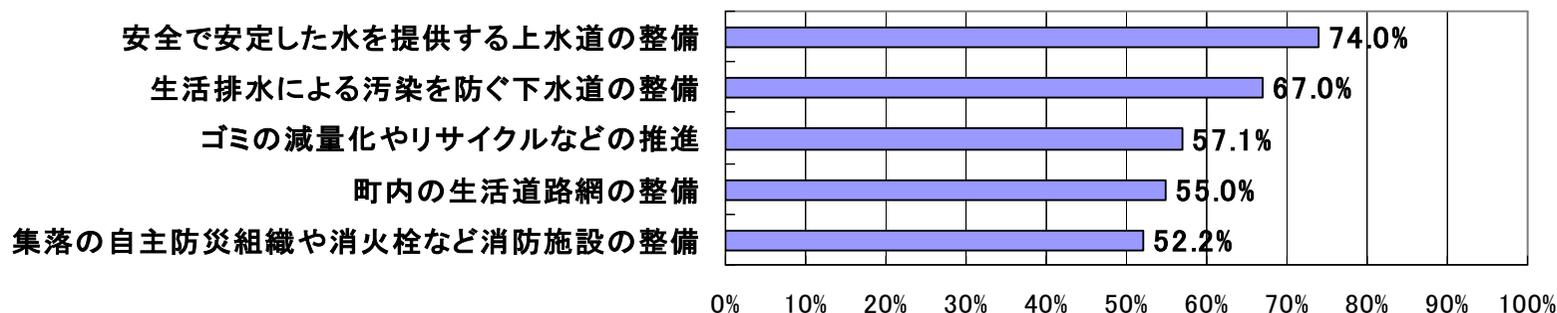
※「達成見込」を含んだ割合

前期基本計画の評価・総括

* まちづくりアンケート調査結果「伯耆町の満足度」より

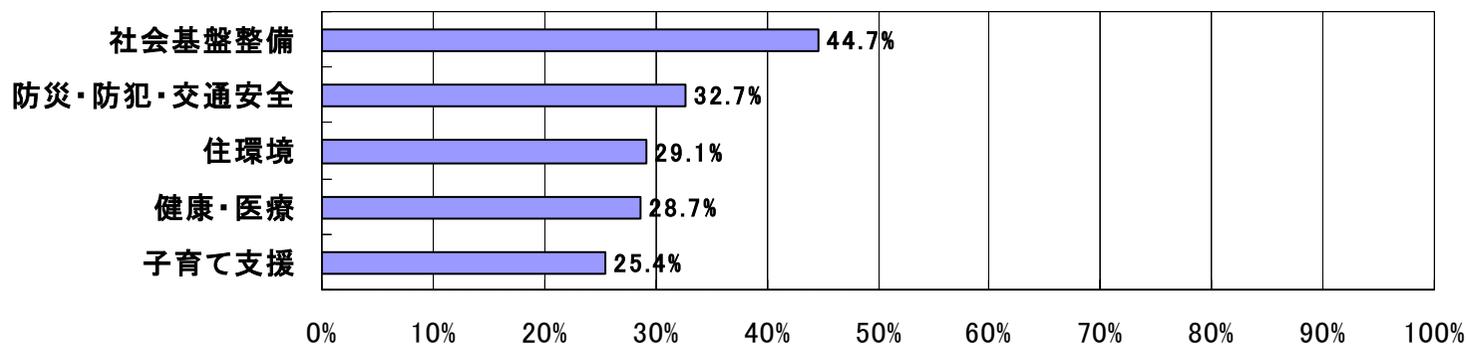
満足度

質問項目別「満足」+「やや満足」の回答割合上位5位



満足度

質問分野別「満足」+「やや満足」の回答割合上位5位

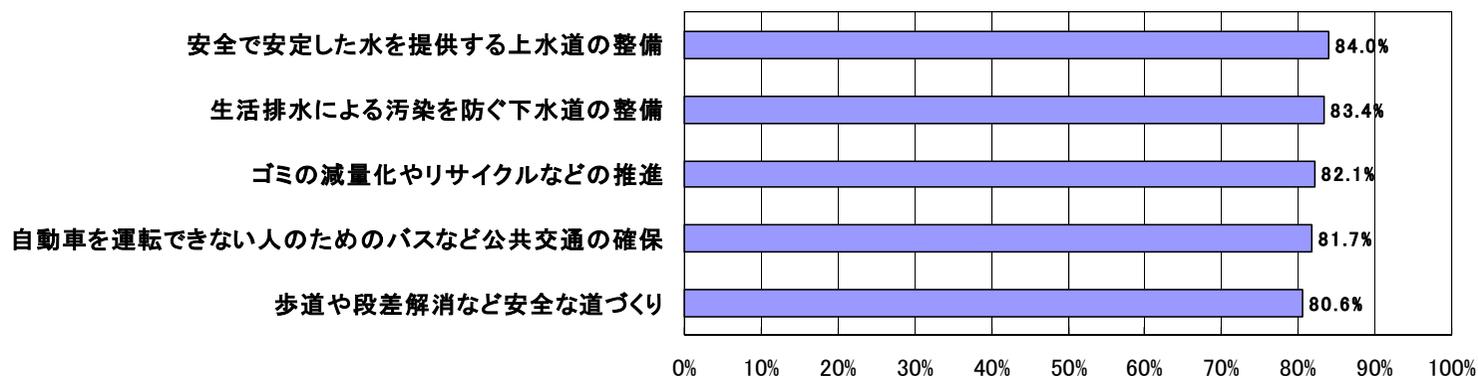


前期基本計画の評価・総括

* まちづくりアンケート調査結果「政策の重要度」より

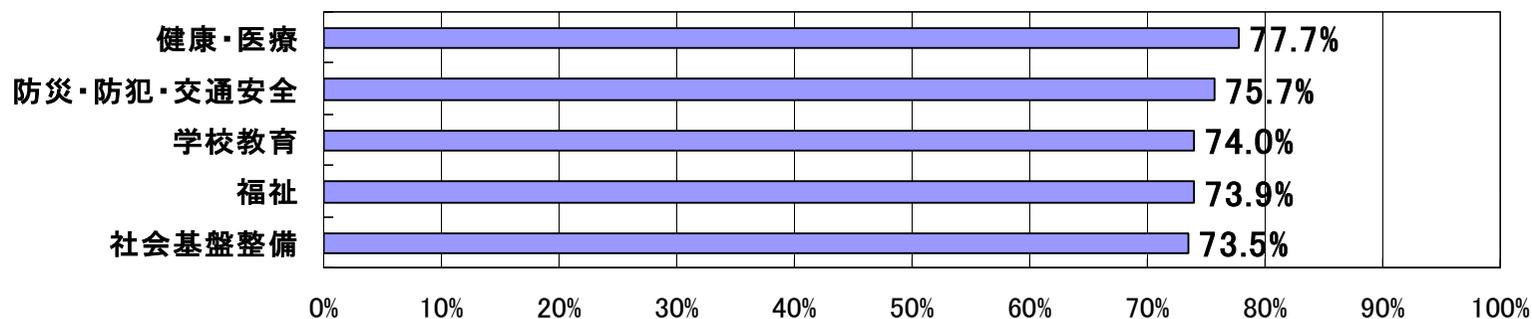
重要度

質問項目別「とても重要」+「やや重要」の回答割合上位5位



重要度

質問分野別「とても重要」+「やや重要」の回答割合上位5位



総合計画後期基本計画

＜社会経済情勢の大きな変化＞

- 長期的な経済の低迷
- 本格的な地域主権時代の到来
- 地球規模での環境問題
- 人口減少社会における少子・高齢化
- 高度情報化社会の進展など



＜計画の見直し＞

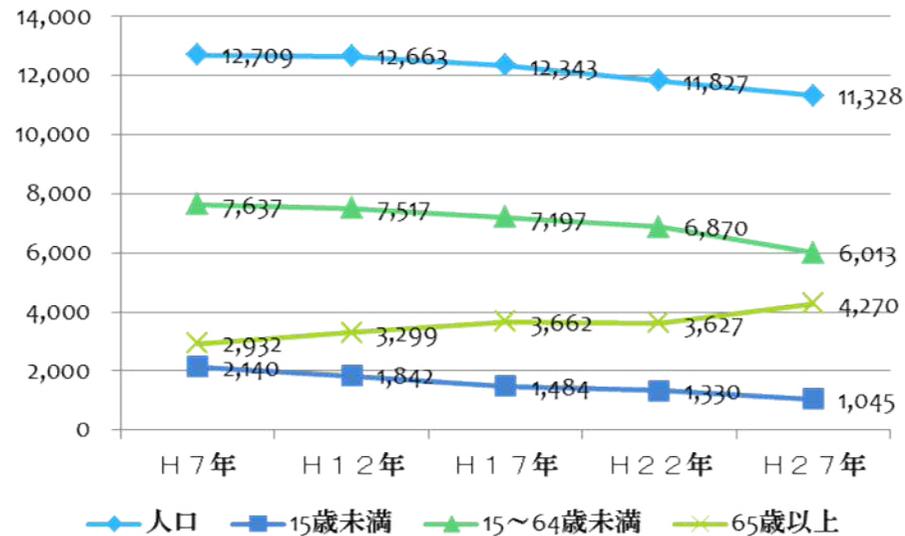
- 社会経済動向を踏まえた将来人口の下方修正
- 「基本構想」の一部見直し

構想実現に向け着実な推進を図る

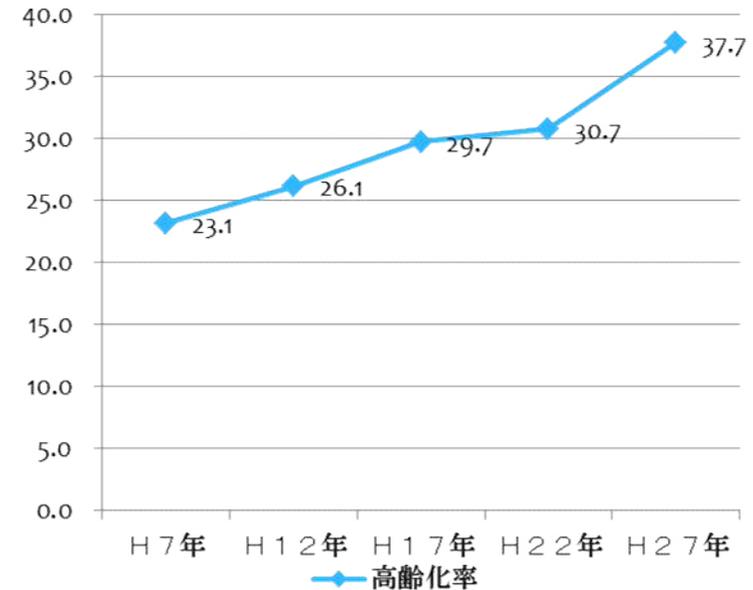
総合計画後期基本計画（参考資料）

■ 後期基本計画における将来人口

(単位:人)



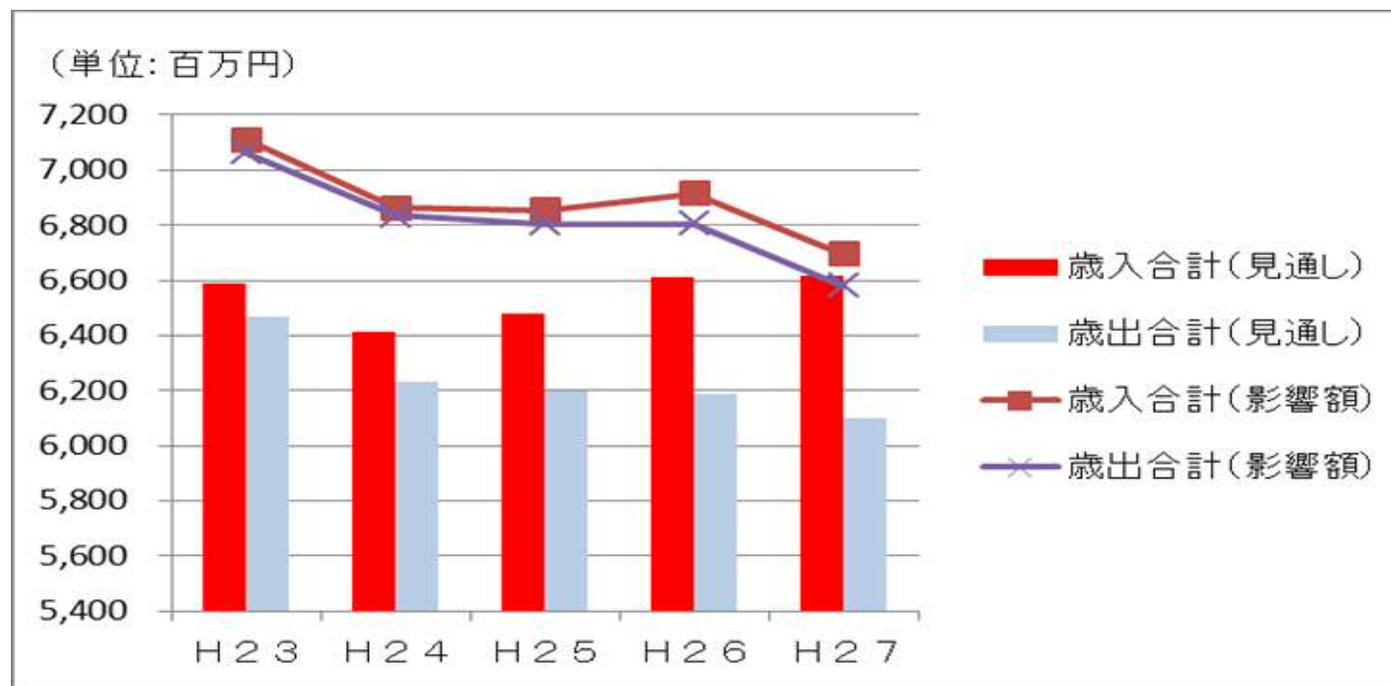
(単位:%)



- H7年、12年、17年は国勢調査数値
- H22年は住民基本台帳数値、平成27年は目標値
- H12年合計には年齢不詳者5人含む

総合計画後期基本計画（参考資料）

■ 財政収支の見通し及び後期計画実施による影響額を加えた財政見通し



後期計画取組予定事業（主なもの）

【消防・防災】

- ◆ 震災に強いまちづくり促進事業（住宅耐震診断等補助金）他2件
- ◆ 消防車購入事業

【省エネルギー】

- ◆ LED照明整備事業 他2件

【道路網】

- ◆ 県道大滝白水線改良事業（栃原工区）
- ◆ 町道大倉線改良事業 他1件

【環境保全】

- ◆ 生ごみ減量化事業（家庭ごみ）他4件
- ◆ 町民の森整備事業 他3件

【上下水道】

- ◆ 藍野・ペンション地区簡易水道整備事業 他5件
- ◆ 榊水地区簡易水道施設整備事業 他5件

【地域福祉】

- ◆ 福祉事務所設置（システム導入・運用）

【芸術文化】

- ◆ 写真美術館修繕事業 他2件

【学校教育】

- ◆ 学校施設耐震化事業 他9件

後期計画取組予定事業（主なもの）

【農業】

- ◆ 大滝放牧場機能充実事業

【集落活動】

- ◆ 集落集会所建設事業

【交流】

- ◆ 大山山麓リゾート観光・田舎もの
マッチング事業 他1件

【町営住宅】

- ◆ P F I 手法による町営住宅整備の検
討

【公共交通】

- ◆ バス事業

【協働のまちづくり】

- ◆ 地域づくり団体支援事業

【高齢者の保健及び福祉】

- ◆ 高齢者に優しいまちづくり事業

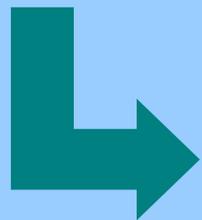
【医療・保険】

- ◆ 健診事業 他3件

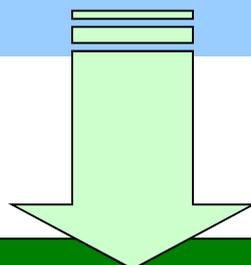
第1次総合計画実施予定事業のうち、 現計画期間中に実施しない事業

- GIS導入事業
- 障害者福祉センター
- 芸術創作工房・ギャラリーの開設
- 町防災行政無線（移動系）
- 海洋センタープール温水化
- 日光公民館附帯施設改修（旧日光小校舎の屋根、廊下）
- ICカードシステムによる事務環境改善
- 伯耆町清掃センター解体事業

後期基本計画の着実な推進



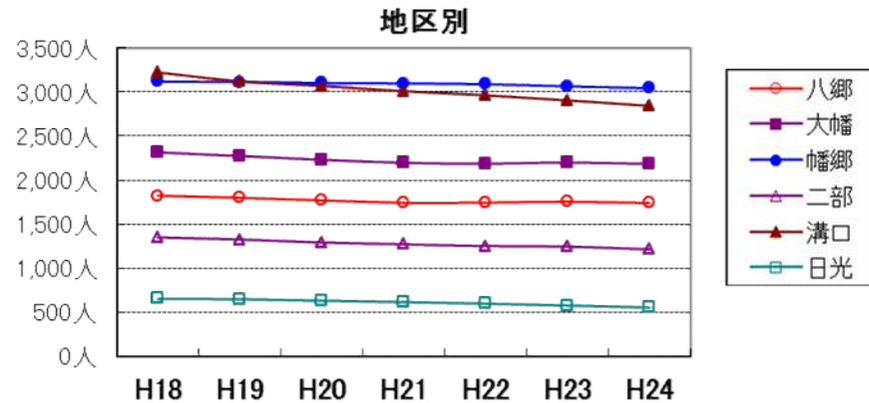
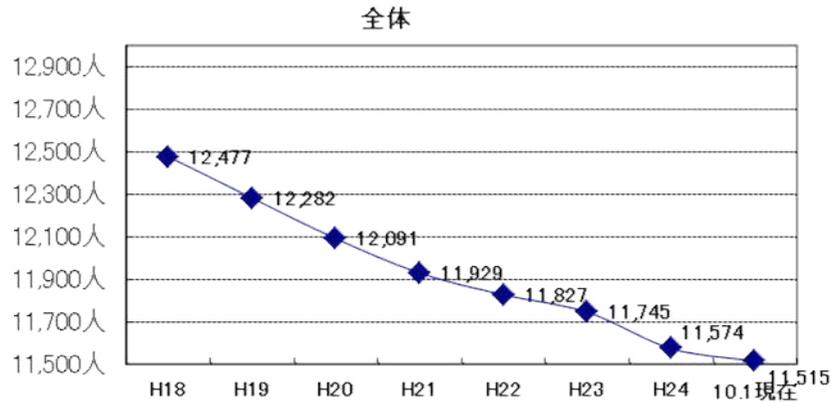
住民満足度の向上



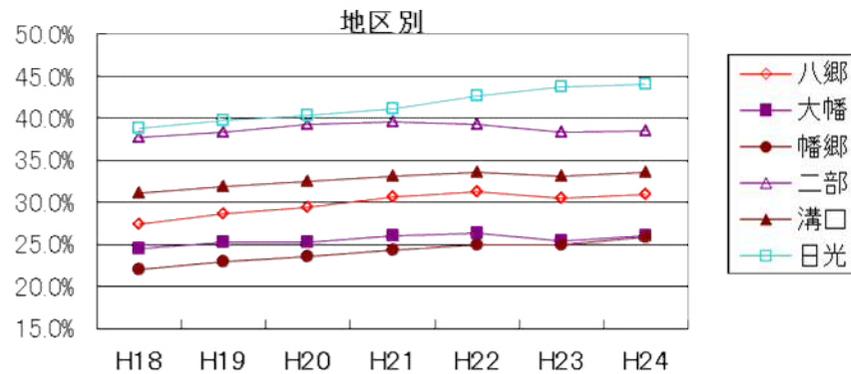
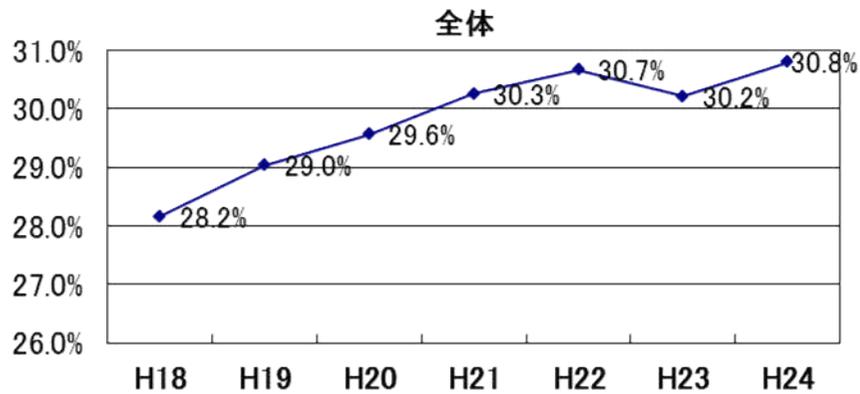
住民と行政が一体となった
協働のまちづくりの実現

町の現状

■ 人口の推移 (各年度4月1日現在)

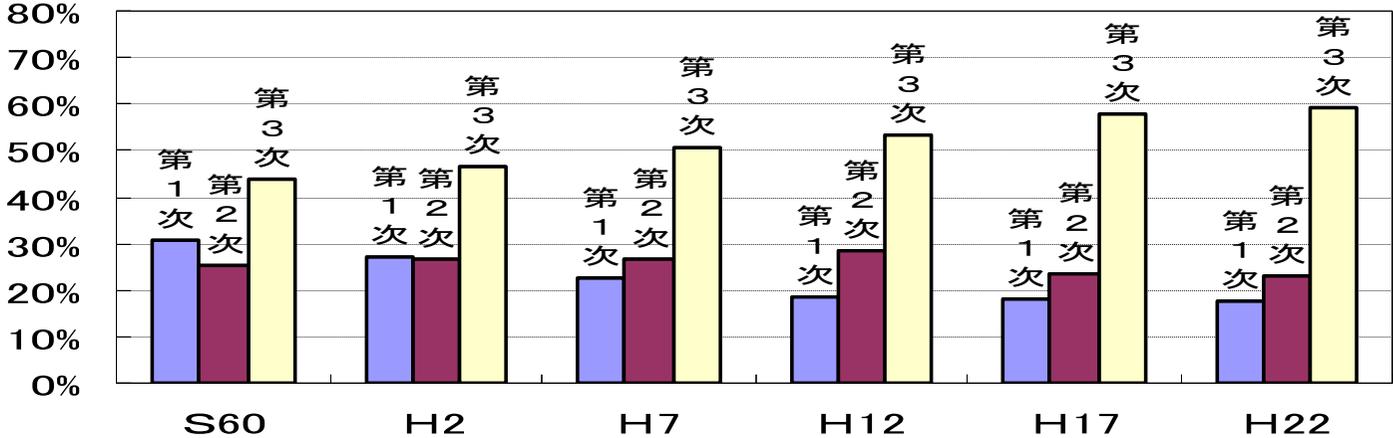


■ 高齢化率の状況 (各年度4月1日現在)



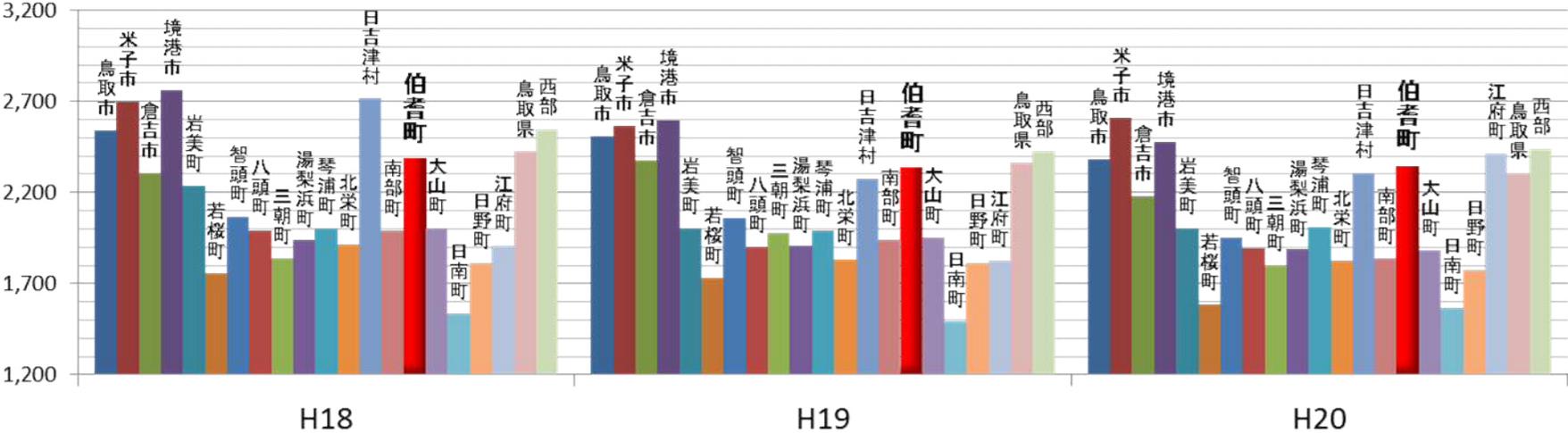
町の現状

産業構造の推移



人口1人あたりの所得の状況（県下の市町村比較）

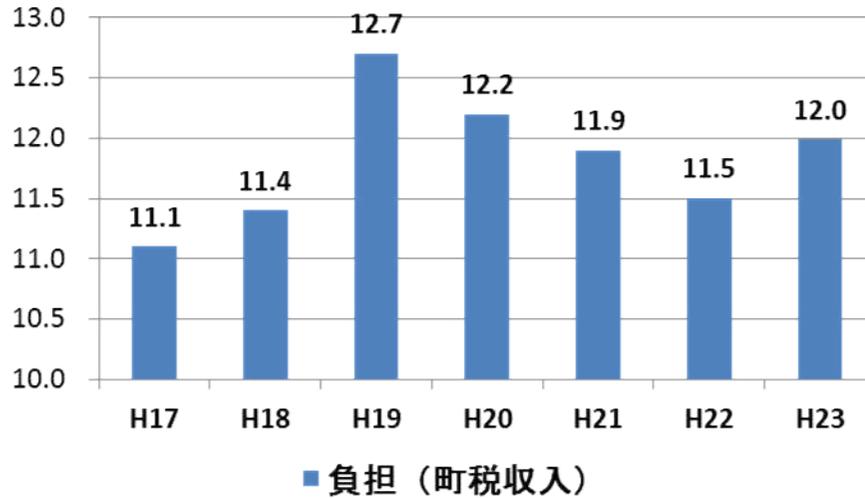
(単位: 千円)



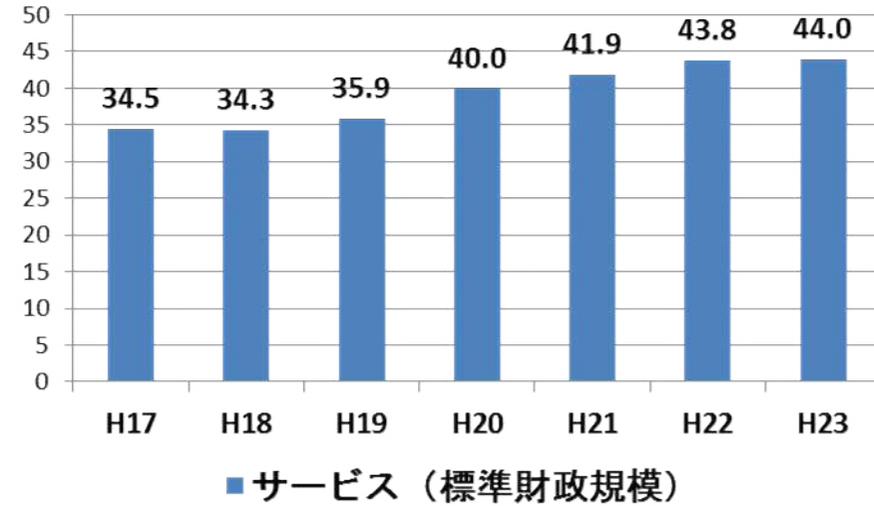
行財政の状況

■一人あたりの負担とサービス

単位:万円



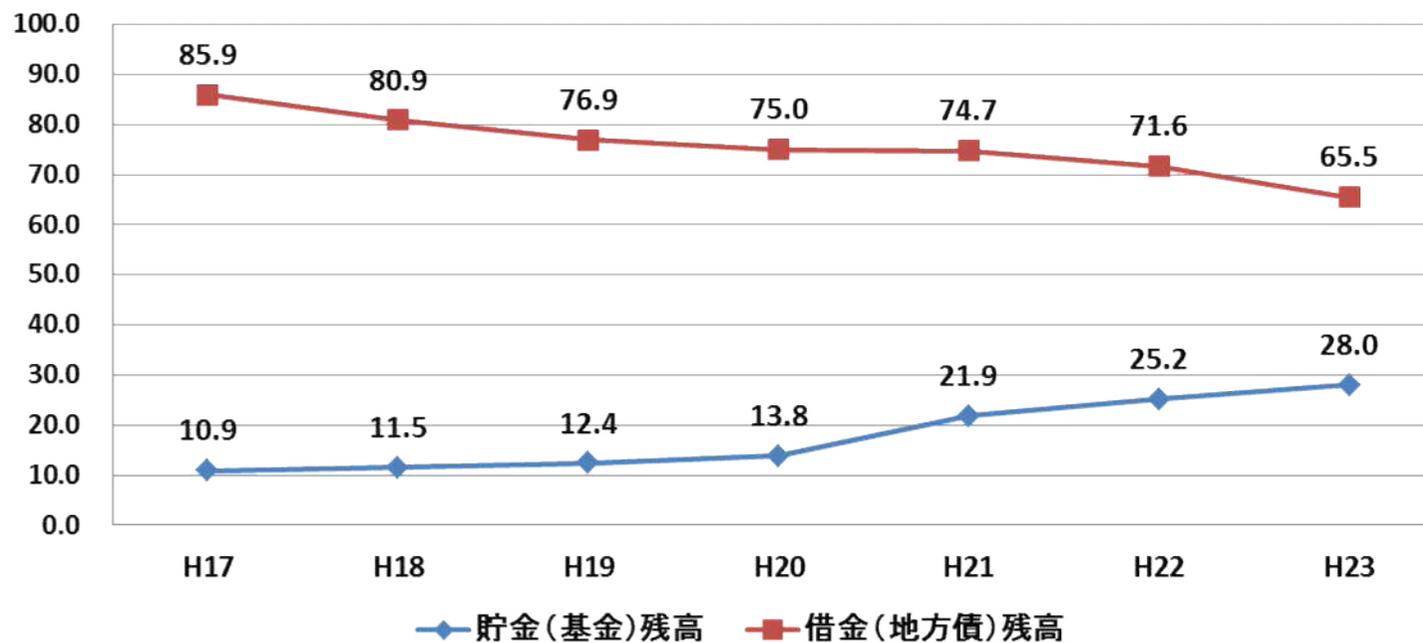
単位:万円



行財政の状況

■一人あたりの貯蓄と借金

(単位: 万円)

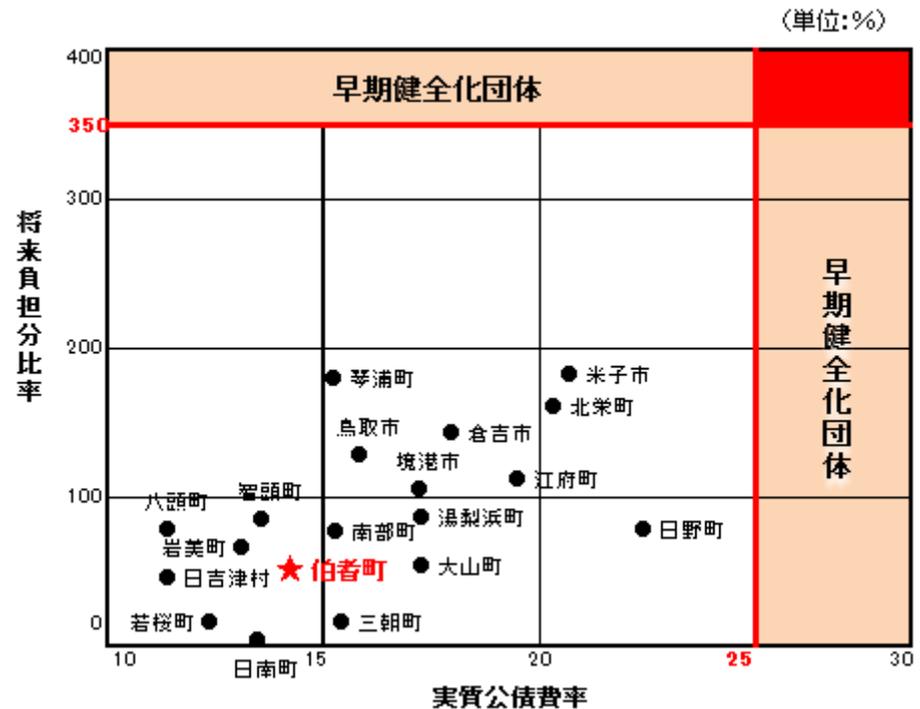


行財政の状況

右のグラフは県内市町村の「実質公債費比率」と「将来負担比率」の状況を表したものです。

財政の健全化が進むとグラフの左下へ、悪化状態になると右上に位置します。

県内における伯耆町の順位は、(良いほうから)実質公債費比率【7位】、将来負担比率【6位】と、いずれも県内市町村の平均を上回りました。徐々に健全化が進んでいますが、今後は、交付税の減額(合併特例措置の終了)や特別会計の公債費の増加が見込まれる等、注意が必要です。



《伯耆町の比率》

| 比率区分 | 説明 | 23年度 | 22年度 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|---------|-----------------------------------------------------------|--------|--------|---------|--------|
| 実質公債費比率 | 町全体の公債費などの、標準財政規模に対する比率(18%を超えると借金するために許可が必要となる)【過去3ヶ年平均】 | 14.60% | 15.8% | 25.00% | 35.00% |
| 将来負担比率 | 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率 | 51.90% | 60.20% | 350.00% | |

本年度の主要な施策

- 1 地域産業・経済の活性化
- 2 環境に配慮したまちづくりの推進
- 3 協働のまちづくりの推進
- 4 子育て環境の充実
- 5 教育環境の充実、人権教育・知的な地域づくり
- 6 健康づくりの推進
- 7 福祉の充実
- 8 農林業の活性化
- 9 防災のまちづくりの推進
- 10 観光の振興
- 11 生活基盤の整備
- 12 財政運営健全化

本年度の重点取組項目

- 福岡活性化プロジェクト事業
- 大山山麓リゾート観光・田舎者マッチング事業
- 町民の森（仮称）整備事業
- 紙オムツ燃料化装置実証検証事業
- 大型生ゴミ処理機導入モデル事業
- 廃棄物減量化推進事業
- 協働のまちづくり推進事業
- ファイルドシート貸出促進事業
- 児童ショートステイ事業
- 保育所受入態勢の拡充整備事業
- 溝口小学校施設耐震等改修事業
- 岸本小学校施設耐震等改修事業
- 八郷小学校施設耐震等改修事業
- 中学校施設耐震等改修事業
- 教育支援センター運営事業
- 健康ポイント制度の導入
- インフルエンザ予防接種事業
- 任意予防接種助成事業
- 三世代等同居モデル事業
- 高齢者交流施設整備事業
- 担い手農業者労災保険加入促進事業
- 全国和牛能力共進会参加助成事業
- 大滝放牧場改修事業
- 放射線簡易測定器購入事業
- 衛星携帯電話購入事業
- 個人住宅耐震診断料補助事業
- 鬼ミュージアム企画展開催事業
- 柘水高原スキー場リフト改修事業
- 狹隘道路等改良事業
- 橋梁長寿命化改修事業
- 公債費の繰上げ償還

町政の課題

- 環境問題
- 少子高齢化社会・人口減少社会への対応
- 教育環境の充実
- 財政運営の健全化

～メ モ～